

東京都写真美術館 外部評価委員会評価結果

対象

- ・平成18年度事業

評価方法の変更点（資料「外部評価委員会の運営について」）

- ・平成17年度事業の評価までは、「運営面」「事業面」の2つの分野に沿って事務事業の評価を行っていたが、平成18年度からは、東京都写真美術館のミッション「存在感のある美術館」を構成する「5つの骨子」に沿って事業を評価し、3年間で最終的にミッションの達成度をはかることとした。
- ・新たな評価の要素を取り入れるとともに、平成17年度評価で課題とされていた要素を重点事項として指定し、各委員において評価を行う際に特に重要視して評価を行うよう要請した。

評価の具体的な方法

- ・外部評価委員会の各委員が、美術館側が内部で行った評価の説明を受け、評価票に5点満点で記入する。その際に、評価のもととなった理由をテキストで記入する。
- ・外部評価委員会において各委員同士で議論を行い、とりまとめに向けた調整を行う。

評価結果の取扱い

- ・文書として、館長の記者懇談会で発表するとともに、東京都写真美術館ホームページでひろく一般に公開する。
- ・評価結果、評価の過程で出された提言等については、次年度以降の美術館運営の改善課題としてとらえ、これに取り組む。

平成18年度事業外部評価の日程

- ・第1回委員会（平成19年6月28日）
新たな評価方法案についての説明、議論、決定
- ・第2回委員会（平成19年10月17日）
平成18年度事業の説明、質疑応答
- ・第3回委員会（平成19年12月19日）
各委員から出された評定結果に基づく議論ととりまとめに向けて調整を行い、評定結果を取りまとめた。
- ・館長記者懇談会（平成20年1月18日）
評定結果の発表

評価の概要（５段階評価、数字は評価の段階を示す）

- ・写真美術館ミッション「存在感のある美術館運営」を構成する５つの骨子の項目に沿って、評価の視点を定めて評価を行った。
その結果の概要及び評点は以下の通りである。

【総評】

平成１８年度の美術館運営は、来館者数は約４４万３千人となり、前年度と比べて100.3%とわずかであったが増となった。展覧会は多彩な自主企画展、長期的な研究に基づく収蔵展など、写真美術館ならではの展覧会を開催し、来館者の満足度を高める努力を行った。

作品収集においては新たな収集の基準を定め、７年ぶりに復活した東京都の作品購入予算を有効に活用して新たなコレクションの充実を図った。

普及教育活動においてはワークショップ、スクールプログラムの多様な展開、ボランティア研修の充実などを行い、進展がみられた。

調査研究は紀要の発行や学芸員による論文の執筆や発表が行われ、貴重な資料となっている。

図書室においてはネットワーク化による検索システムの整備が行われるとともに、年報や紀要の登載などホームページによる情報公開も進んでいる。

広報宣伝については、季刊誌「eyes」や年間２０にのぼる展覧会プレスリリースの発信、館長記者懇談会等情報発信と広報が効果的に行われている。

美術館運営については、来館者からの意見を把握し、迅速に改善するべく、情報の共有化に務めるなど、館内の連絡体制が整えられている。

維持会員制度については、国公立、私立を問わず他の美術館・博物館の追随を許さない成果を挙げており、積極的な営業努力を高く評価する。

なお、指摘された課題（作品管理や地域連携の強化及びインフラの改善など）については館独自の工夫を積み重ねて一層の改善を図るべきである。また、東京都には設置者としての対応をお願いしたい。

【評点一覧】

1．過去から現在に至る写真・映像文化を未来に継承する美術館

【作品収集】優れた写真・映像作品を計画的・効果的に収集する

【作品管理】的確に作品を管理する

【調査研究】写真・映像に関して幅広く調査・研究を行う

2．質の高い写真・映像文化と出会う美術館

【来館者増の努力】来館者数の目標を定め、集客増を図る

【質的な満足度の追求】人びとが質的な満足を得られる機会を提供する

【良質な映画の上映】ホールで良質な映画を誘致し上映する

3．写真・映像文化の普及と新たな創造を支援する美術館

【多様な教育普及】対象者に応じた多様な教育普及プログラムを提供する

【図書収集と情報公開】図書・情報の収集と公開を促進する

【外部との普及事業の協力】外部との協力により普及事業の活性化を図る

4．写真・映像文化の拠点として貢献する美術館

【効果的な広報・宣伝】効果的に広報・宣伝を実施する

【情報発信】インターネット等を用いた情報発信を行う

【地域連携の強化】地域との連携を強化する

5．開かれた美術館

【来館者からの意見把握と迅速な改善】

一般来館者からの意見を常に把握し、迅速な改善に努める

【良質なサービスの企画】良質なサービスを企画していく

【良質なサービスの提供】良質なサービスを提供していく

【企業・団体の参画】企業、団体などの参画を促進していく

6．インフラの改善

評価結果一覧

1. 過去から現在に至る写真・映像文化を未来に継承する美術館

【作品収集】優れた写真・映像作品を計画的・効果的に収集する

【作品管理】的確に作品を管理する

【調査研究】写真・映像に関して幅広く調査・研究を行う

【作品収集】

評価の理由

- ・写真作品収集の新指針を策定し、重点作家を新規に決めて計画的に作品収集を行いコレクションの充実がはかられた。
- ・収集した作品をメディアに公開し、年報でも紹介している。
- ・対象を若手、新進作家としたことは妥当である。
- ・ミッションに沿って、できる範囲で明確なビジョンを持った収集を行っている。
- ・復活した予算のなかで出来るだけのことをやっている。

指摘された課題・提言等

- ・2006年度の新規購入作品も一般公開する機会があればよい。
- ・購入の機会には恒常的ではないので、多少柔軟な対応もできる方がよい。
- ・コレクションの維持、発展のための都の収集予算の継続、拡充が望まれる。

【作品管理】

評価の理由

- ・収集した作品の管理手続き、情報データ作成、複写など、作品と作品データの管理が適切になされている。
- ・作品を適切に保存するための科学研究や実践も恒常的に行われている。
- ・保存管理について、保存科学研究室の成果を評価する。修復技法も社会に貢献するところが大きい。
- ・収集作品の管理データの目標を具体的に設定、実行したことを評価する。

指摘された課題・提言等

- ・日本の美術館全体の問題として保存研究にはさらに力を入れてほしい。
- ・引き続き管理条件の維持・向上が望まれ、環境設備の改修を必要に応じて東京都に要請すべきである。
- ・事務手続、管理手続については現在進行形である。

【調査研究】

評価の理由

- ・ 収蔵作品の調査や、学芸員の日常的な調査研究活動を活かし、自主企画展を実施し、図録や書籍の形にした。
- ・ 紀要を発行し、調査研究の成果を外部に積極的に発表していることを評価する。
- ・ 国内外の学会、研究会、シンポジウムなどに積極的に参加し、館外における論文発表、寄稿においても研究活動を広く示し、貢献することができた。
- ・ 他の公立館と比べて、論文の執筆、発表が活発であり、きわめて質の高い紀要を発行していることを評価する。

指摘された課題・提言等

- ・ さらに調査研究に力を入れ、美術館の活動に還元することが望まれる。

2. 質の高い写真・映像文化と出会う美術館

【来館者増の努力】来館者数の目標を定め、集客増を図る

【質的な満足度の追求】人びとが質的な満足を得られる機会を提供する

【良質な映画の上映】ホールで良質な映画を誘致し上映する

【来館者増の努力】

評価の理由

- ・ 目標を上回り、そのためのあらゆる努力を評価する。
- ・ 館全体の取り組みにより、年間来館者数の目標を達成し、過去最高の来館者数を達成した。
- ・ 十分な議論と準備のもと、各展覧会を企画実施している。

指摘された課題・提言等

- ・ 個々の来館者の満足度を保ちつつ、来館者数の目標を今後も維持したい。
- ・ リピーターを増やしつつ、新たな来館者の掘り起こしにも引き続き努めたい。

【質的な満足度の追求】

評価の理由

- ・ 収蔵作品を多角的に研究し、自主企画展においてわかりやすく紹介した。特に長期にわたる調査研究に基づいて行われるシリーズ展や収蔵品を活用した展覧会は貴重なものである。
- ・ 来館者の多様なレベルに対応する多角的なテーマの設定、外部組織との連携企画はいずれも優秀である。
- ・ 多様なテーマの展覧会を提供し、アンケートなどで来館者の満足度を図り考慮に入れている。
- ・ 近隣関連施設や他館との連携を図り、インターネット情報なども充実している。
- ・ 近年の写真ブームに甘えることなく、中身の濃い事業を丹念に実行している。

指摘された課題・提言等

- ・ 来館者から、さらに多くのアンケートを出来るだけ集めるべきである
- ・ 質的な満足度は数ではかることはできない。

【良質な映画の上映】

評価の理由

- ・従来よりも写真や美術、芸術全般をテーマとした映画のラインナップを充実させ、写真美術館ならではの映画鑑賞の機会を提供している。
- ・映画の観覧者は来館者全体の十分の一ではあるが、写真美術館の存在感を示すに値する文化的内容を有する。
- ・東京で他では見られないような芸術性の高い作品が上映されている。

指摘された課題・提言等

- ・一般公開されずに終わる日本人監督の芸術性の高い映画などに上映機会を増やしてほしい。
- ・実験劇場の存在の周知の努力を重ねるべきである。

3 写真・映像文化の普及と新たな創造を支援する美術館

【多様な教育普及プログラム】

対象者に応じた多様な教育普及プログラムを提供する

【図書収集と情報公開】

図書・情報の収集と公開を促進する

【外部との普及事業の協力】

外部との協力により普及事業の活性化を図る

【多様な普及教育プログラム】

評価の理由

- ・小中高から大学や専門各種学校の授業とリンクしたスクールプログラムを実施し、鑑賞や実技を通して写真文化の理解と関心を高めることに貢献した。
- ・ワークショップやガイドツアー、講演会やカフェトークといった多様な体験、学習の機会を提供し、展覧会と連動した多彩なプログラムを用意している。
- ・スクールプログラムは多くの学校に認知され、「友の会」会員向け企画も幅広く実施されている。またボランティア向け研修も多彩に実施されている。
- ・これまで以上に努力のあとが認められる。

指摘された課題・提言等

- ・よく努力はしているが、他の美術館の参考となるような教育普及プログラムの開発を行い、そのメソッドを公開してほしい。
- ・今後も展覧会と相乗効果を挙げるような普及活動を行い、活気をもたらしてほしい。

【図書収集と情報公開】

評価の理由

- ・図書館サービスは気持ちよく提供されている。
- ・ホームページを充実させた図書検索システム稼働や展覧会と連動した関連図書の紹介・公開など、従来よりも一歩進んだ図書資料の活用に努力している。
- ・唯一の写真専門美術館としてユニークな雰囲気醸成しだしレファレンス機能もしっかりしている。

指摘された課題・提案等

- ・写真美術館の図書室が貴重な刊行物を収集され、ホームページ上でも公開されていることをより周知すればさらに良くなる。
- ・小さい施設なので運用に工夫が必要。
- ・図書資料収集は作品収集と適切なバランスをとる必要がある。

【外部との普及事業の協力】

評価の理由

- ・ボランティア及び学校との連携強化の努力を評価する。
- ・写真関連団体、企業、NPO と連携してワークショップを実施していることを評価する。
- ・ボランティアのための研修制度を充実させ、ボランティアの活動の幅を広げて満足度を高める試みがなされた。
- ・同じ財団の江戸東京博物館との連携という発想は興味深い。
- ・ボランティアの協力、研修は地道に続けられればよい。

指摘された課題・提案等

- ・今後、さらに大学・研究機関、デジタルメディアを扱う企業系の研究所などとの連携も検討してほしい。

4 写真・映像文化の拠点として貢献する美術館

【効果的な広報・宣伝】効果的に広報・宣伝を実施する

【情報発信】インターネット等を用いた情報発信を行う

【地域連携の強化】地域との連携を強化する

【効果的な広報・宣伝】

評価の理由

- ・報道機関との対応、季刊誌等、極めて効果的かつ活発である。
- ・広報誌「写真美術館ニュース eyes」やプレスリリースを作成、プレスギャラリーツアー、館長記者懇談会などを実施、展覧会と美術館の情報発信と広報が効果的に行われた。
- ・写真美術館といえば広報というくらい、効果的な広報・宣伝の努力を行っている。
- ・ポスター、ちらし等のデザインが優れており、基本ポリシーは若者に強く支持されている。

指摘された課題・提案等

- ・基本的に努力しているが、個人情報保護法を順守したうえで、メルマガなどの形で定期的に情報提供することが重要である。
- ・今後ともメディアとのコミュニケーションを有効に行ってほしい。

【情報発信】

評価の理由

- ・努力と改善を重ね、充実したものになってきている。
- ・ホームページのコンテンツの充実が図られ館の活動が広く公開された。
- ・ホームページ上の年報、携帯サイトへのブログ情報の提供など、ホームページ上の情報発信はかなり進んでいる。

指摘された課題・提案等

- ・未だにインターネットを使いこなせない利用者も多いので、館が提供するリソースを最大限に活用してもらうためにメディア・リテラシー教育を考えてはどうか。
- ・館で行った過去の展覧会の情報や図録についてもホームページで充実するようにしたほうがよい。

【地域連携の強化】

評価の理由

- ・「あ・ら・かるチャー」の取り組みで渋谷・恵比寿・原宿の文化施設連携を図っている。
- ・恵比寿ガーデンプレイスという恵まれた環境に甘えることなく、お正月開館など積極果敢な取り組みを行っている。

指摘された課題・提案等

- ・商業店舗だけでなく地元住民との交流、地元自治体との連携など、地域の交流を強化すべきである。

5 開かれた美術館

【来館者からの意見把握と迅速な改善】

一般来館者からの意見を常に把握し、迅速な改善に努める

【良質なサービスの企画】良質なサービスを企画していく

【良質なサービスの提供】良質なサービスを提供していく

【企業・団体の参画】企業、団体などの参画を促進していく

【来館者からの意見把握と迅速な改善】

評価の理由

- ・来館者からの意見を把握し、迅速に改善できるよう、受付、看視員と、館の連絡体制がしっかりしていて、情報が共有されている。
- ・アンケートの集約、回覧が徹底され、クレーム対応が講じられている。
- ・来館者への心配りなど適切な対応については耳にするところである。

指摘された課題・提案等

- ・アンケートのとりかたの工夫、利用者モニターなど検討するべきである。

【良質なサービスの企画】

評価の理由

- ・スタッフの自主性を尊重したサービスが行われている。
- ・スタッフがいきいきと仕事をしていることが重要である。
- ・正月開館の継続、閉館時間の延長など、努力を続けている。

指摘された課題・提案等

- ・人的な外国人の案内、展覧会の外国語の音声ガイドなども検討の余地がある。

【良質なサービスの提供】

評価の理由

- ・温かい雰囲気をつくりたいという意欲が感じられる。
- ・美術館のサービスの根幹は収集と展示であるということを忘れさせるほどにスタッフの接遇の評判はよい。
- ・展覧会の事前オリエンテーションを徹底し、接遇の向上に努めている。
- ・利用者の苦情や要望を早期にくみ上げ、迅速に対応できる体制を整えている。

指摘された課題・提案等

- ・リピーターを増やすのは、やはり企画力だけではないので、今後も努力を続けて欲しい。

【企業・団体の参画】

評価の理由

- ・維持会員をこれだけ確保していることは立派である。
- ・昨今の厳しい経済情勢のなか、積極的な「営業努力」をしておられる様子がよくわかり、成果にも表れている。
- ・企業との連携については、質量とも申し分ないと思う。

指摘された課題・提案等

- ・今後さらに強化することが望ましい。

6. インフラの改善

評価の理由

- ・ミッション達成のため必要な物理的インフラはかなり良好な状況にあると考える。
- ・日本初の写真の総合美術館として、実験劇場やさまざまな展示スペースを持ち、そのユニークさを魅力として存分に発揮できていると思う。

指摘された課題・提案等

- ・開館後10年が経過したため、老朽化した設備の点検、更新、改修が必要。
- ・来館者の評判に響く展示室の壁の状態や清掃の面などは無理にコストにこだわらず、優先すべきである。
- ・危機管理の徹底、災害訓練の継続は引き続き重要である。
- ・エレベータの混雑問題、人気企画展の展示ギャラリーの混雑緩和などは継続した課題となっている。
- ・IT環境の改善。
- ・業務運営の効率性を高める一方で、十分に適正な人員配置と職場環境を整備していくことが東京都に求められている。